

補修部品の生産ソリューション

補修部品生産の赤字を削減

補修部品は最終生産し、RPシステム®で劣化なく保存。稼働率の低い老朽化設備を廃棄。
量産品設備への置き換えで工場稼働率が上昇します。

! 補修部品生産の問題点

生産設備の維持
更新ができない

在庫の
品質劣化による
クレーム・廃棄

低稼働率の
生産設備の存在

原料の
生産中止

生産技術の
伝承ができない

RPシステム®

Revolutionary Preservation System

無酸素・無水分包装が**解決**します。

補修部品を供給終了期間まで作り続けられますか？

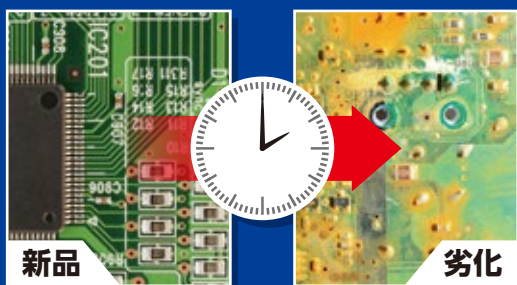
その製品は赤字ではありませんか？

！ 現行の補修部品生産プロセスの問題点

問題点① 品質

在庫部品のはんだ性劣化・変色等による再検査・廃棄の発生。

量産品の部品は長期保管することを前提に包装設計されていません。よって劣化する品質を保証するために一定期間ごとに信頼性試験を行う必要があります。保存期限を超えたり、信頼性試験に合格しなかったりした品物は廃棄する事になります。



問題点② 生産性・工場稼働率

稼働率が低い古い機械を維持所有する必要があります。

古い機械はメンテナンスコストが割高になります。また稼働率の低い生産設備があれば、工場稼働率も低下します。



問題点③ 生産継続性

原料の生産中止リスクや生産技術伝承の困難。

原料の発注が間歇的になると、ベンダーからの生産中止連絡が行き届かない事もあります。

また、定期的に生産していない品目は、生産技術・ノウハウの伝承が困難になります。



問題点④ コスト

生産コストは補修部品>>大量生産品。

少量生産で高くなる製造コスト、売り切れない分の廃棄コスト、再検査費用、機械のメンテナンス費用。補修部品の継続生産は、大量生産時の製造コストとはかけ離れています。

これを最も生産量が多くなる時に下がりきった価格で販売すれば、赤字は膨らむばかりです。



Solution 問題点をRPシステム®で一挙に解決

RPシステム®とは脱酸素乾燥剤「RP剤」とハイガスバリア袋を組み合わせた保管方法で、乾燥窒素雰囲気をつくることで部品の劣化を防止します。生産直後の品質のまま長期保管が可能です。これにより時間経過による廃棄分の削減や再検品の簡略化、生産ラインの見直しなど現行のムダを抑えることが可能になります。



在庫の保管方法を変えるだけで、あらゆる事柄のコスト削減が可能になり、また廃棄が減ることで環境負担も軽減できます。

Q 弊社製品の保存後の保証をしてもらえるのですか？

A RPシステム®は金属や部品類が酸化しない空間を提供するだけで、それにより貴社製品の劣化が防げるかを確認いただくのは貴社となります。
具体的には①「RP剤とバリア袋(弊社製の場合)の性能が規定通りである事」、②「RP剤を容量通り正しい手順で使用し正しく密封した事」、③「保存しようとする製品に初期不良や予期しないコンタミネーションが無い事」により長期間保存が可能になりますが、弊社が担保できるのは①だけです。

Q どれくらいの期間を保存することが出来るのですか？

A RP剤と弊社アルミ袋を使用し常温(倉庫)保存した場合、10年を目安としてください。
弊社では5年保存後毎年のチェック、必要なら交換を強く推奨しております。

Q 20年保存したい場合、10年で入れ替えるということですか？

A ご理解のとおりです。

Q 加速試験を行いたいのですが、加速係数を教えてください。

A ①「錆・酸化に再現性が無い事」、②「活性化エネルギーが決められない事」から、根拠をもった加速係数を定めることはできません。
各社各様の加速係数を決めておられるのが実情です。

Q 加速試験の際の温度条件を教えてください。

A 袋にポリエチレンを使用していることから100℃以上のテストはできません。
高くても80℃、一般的には60℃以下でのテストを行ってください。

Q 採用にむけた評価試験に際し、どの様なデータがとれますか？

A 保存(加速試験)前後の袋内酸素濃度、および袋内湿度経時変化等をご提供可能です。
データ取得等、実施試験内容に関しては、事前に販売店を通じてご相談下さい。

Q 環境データの提供は可能ですか？

A REACH SVHC (RoHS II4物質を含む) 不使用証明、RoHS6物資の不使用証明および精密分析データ、chemSHERPA (JAMP AIS)にてご提供いたします。
ただし、RoHS6物質の年次更新は行っておりません。

Q 公的な規格はありますか？

A 米国政府電子情報工業会の“電子デバイスの長期保存”方法に認定されています。
(ANSI / GEIA-SDT-0003)

※本リーフレットに記載されている事項は、貴社製品に適用した場合同等あるいは、貴社の意図する効果を保証するものではありません。

三菱ガス化学株式会社

販売店

特殊機能材カンパニー 脱酸素剤事業部

RPシステム

東京 〒100-8324 東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビル 6F
TEL:03-3283-5167 FAX:03-3287-1785

大阪 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町 19-19 アロースタワー 23F
TEL:06-6372-1200 FAX:06-6376-1220